

区分		No.	コメント			備考	
			開催回	日付	内容		
海域	地質・地質構造	海士岬沖断層帯	67	第1193回	2023.10.6	事業者が笹波沖断層帯(東部)の分岐断層と評価している断層は、地質構造等を踏まえると海士岬沖断層帯と一連の構造と考えられる。また、海士岬沖断層帯の長さについて、文献では専門家の合意形成のもと、18.4kmと評価されている。一方、事業者は海士岬沖断層帯の長さを12.2kmと評価している。文献より短く評価するのであれば、明確なデータを示すこと。明確なデータがないのであれば、評価を見直すこと。	
海域	地質・地質構造	海士岬沖断層帯と能登半島北部沿岸域断層帯	68	第1193回	2023.10.6	「連動を考慮している猿山沖セグメント・輪島沖セグメント・珠洲沖セグメント・禄剛セグメント」及び「連動を考慮している笹波沖断層帯(東部)・笹波沖断層帯(西部)」の連動評価の考え方について、「連動を考慮していない笹波沖断層帯(東部)・猿山沖セグメント」との違いを整理して明確に示すこと。	
海域	地質・地質構造	連動の検討方法	69	第1193回	2023.10.6	事業者が連動評価を行うにあたり、地震調査委員会による長期評価を参考としてとりまとめているが、事業者は地震調査委員会が当該評価で連動と扱っていないものも連動と記載しているため、当該評価に合わせて記載を見直すこと。また、事業者としての連動の定義や地震動評価における断層モデルの設定方法について整理して示すこと。	
海域	地質・地質構造	福浦断層と兜岩沖断層	70	第1193回	2023.10.6	上記コメントNo.69で整理した内容を福浦断層と兜岩沖断層の連動の検討結果に反映すること。	
海域	地質・地質構造	砺波平野断層帯(西部)と高岡断層と富山湾西側海域断層	71	第1193回	2023.10.6	砺波平野断層帯(西部)の北方に近接して分布する高岡断層について、評価対象として抽出した上で、砺波平野断層帯(西部)と高岡断層の連動の検討結果、さらに北方に分布する富山湾西側海域断層との連動の検討結果についても説明すること。	
海域	地質・地質構造	能登半島東方沖の断層ほか	72	第1193回	2023.10.6	能登半島東方沖の断層のように、複数の文献の中から、他の文献よりも短い断層長さを示している文献に基づいて長さの評価を行う場合の考え方を記載すること。	
海域	地質・地質構造	ひずみ集中帯	73	第1193回	2023.10.6	敷地周辺の断層の評価の基礎情報として、文献に示されているひずみ集中帯の分布を示すこと。	